

6 動物のすみか (指導時期 9月・4時間)

★：その学年で特に育成を目指すべき問題解決の力を意識した内容です。

◆：その時間で学習する活動内容です。

単元の目標

身の回りの動物を探る中で、これらの様子や周辺の環境に着目して、それらを比較しながら、生物と環境との関わりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。

●生物は、その周辺の環境と関わって生きていること。

●身の回りの生物の様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、身の回りの生物と環境との関わりについての問題を見だし、表現すること。

小単元	時	学習内容	観点別評価規準例
動物のすみか	1	○校庭で動物を探して、動物がいる場所について気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう	<p>【態度】 生物と環境との関わりについての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉</p> <p>【思・判・表】 生物と環境との関わりについて、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉</p>
	2 3	○いろいろな動物がいた場所の様子を比べながら調べる。 ◆ かんさつ	<p>【知・技】 生物と環境との関わりについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉</p> <p>【思・判・表】 生物と環境との関わりについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉</p>

		<p>【知・技】 生物は、その周辺の環境と関わって 生きていることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉</p>
4	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	<p>【態度】 生物と環境との関わりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉</p>

【準備物】

虫眼鏡、ものさし、タブレット、植物図鑑、動物図鑑（昆虫、水の生き物など）、〔観察カード、クリップ付きボード、色鉛筆、模造紙、付箋（数色）〕